



なぎそ

議会だより

平成27年4月25日 住民懇談会の報告



(議会と住民のみなさんとの懇談会)

☆意見交換の概要 P12-14

資料：議員活動、議員定数と報酬

南木曾町議会では、「議会基本条例」にのっとり、住民のみなさんと共に学び語り合う住民懇談会を、4月25日(土)午後1時半より南木曾会館で行いました

前半は「地方議会の現状と課題」を中心に、議会の役割、議員定数などについて意見交換を行いました。参加者は約30名で、限られた時間でしたが、貴重な意見交換や質問などを伺うことができました。

後半は坂下病院名誉院長の高山哲夫先生から「高齢社会と地域包括ケアについて」という演題で講演をしていただきました。参加者は約50名でした。

参加していただいた皆さん、ありがとうございました。

懇談会前半の意見交換の概要をまとめました。当日配布の資料の一部とともに報告いたします。

『地方議会の現状と課題について』

— 議員定数・議員報酬・議会に望むことなどを語り合う —

議長あいさつ

議会基本条例により住民の皆さんと学び語り合う住民懇談会を開きます。

今年度は地方選挙が行われ、木曽郡では上松町、木祖村、大桑村で選挙、上松は無投票でした。

町は3年前の選挙以来、10名定員に対し1名欠員の9名で活動しています。議員の役割は重要で、多くの地域や幅広い年齢層からの選出が良いと思います。全国でも60歳以上が77%以上で、若い人女性の声も届きにくくなっています。

南木曾町の議員活動は年間90日ほどで、行事などへの出席も含め、1年365日、責任を持って活動しています。

議員報酬は月に14万3千円で、議員年金や退職金、政務調査活動費などはありません。

来年は南木曾町でも改選です。議員定数の意見、要望や思いを語り

合い、実り多い懇談となるようお願いいたします。

懇談会の議事概要

(司会は山崎副議長)

1. 資料説明

意見交換に先立ち、議会からの情報提供(資料説明)を行いました。

● 議会の活動について

平成26年度の議会活動を一覧で示し、主な内容を説明。議員の年間活動回数は表1のとおり。

● 議員報酬・議員定数について

木曽郡の町村ごとの議員定数・報酬等の比較は表2のとおり。

● 町民アンケートの結果について

「広報なぎそ」26年5月号の「議会だより」掲載のアンケート結果を説明。

(議会主催の住民懇談会資料の抜粋)

表1

南木曾町議会の活動

(参考資料) 年間活動回数

期間：平成26年4月～平成27年3月

議長	206回	副議長	121回	常任委員長・議員	93回
----	------	-----	------	----------	-----

表2

議員報酬・議員定数等について

木曽郡の町村における議員定数

(平成27年4月1日現在)

町村名	南木曾町	大桑村	上松町	木曾町	木祖村	王滝村	木曽郡
議員定数	10人	10人	10人	14人	10人	6人	60人
議員の実数	9人	10人	10人	14人	10人	6人	59人
定数当たりの人口	450人	400人	490人	858人	309人	139人	489人
定数当たりの世帯数	182世帯	155世帯	219世帯	360世帯	113世帯	66世帯	202世帯
町村の人口	4,507人	4,008人	4,902人	12,022人	3,095人	839人	29,373人
世帯数	1,820世帯	1,558世帯	2,191世帯	5,044世帯	1,138世帯	397世帯	12,148世帯
1世帯当たりの人数	2.4人	2.5人	2.2人	2.3人	2.7人	2.1人	2.4人

木曽郡の町村における議員報酬(月額)

(平成27年4月1日現在)

町村名	南木曾町	大桑村	上松町	木曾町	木祖村	王滝村	平均
議長	235,000円	242,000円	240,500円	257,000円	243,000円	226,700円	240,700円
副議長	163,000円	169,000円	164,900円	176,000円	166,000円	155,500円	165,733円
常任委員長	147,000円	156,000円	155,200円	162,000円	155,000円	138,800円	152,333円
議員	143,000円	149,000円	145,500円	155,000円	150,000円	132,700円	145,867円
	参考：長野県の58町村平均(平成26年7月1日現在)						168,000円
	参考：全国町村平均(平成26年7月1日現在)						210,000円
政務活動費	—円	—円	—円	—円	—円	—円	—円

2. 意見交換

議員定数と報酬

意見 蘭の男性

議員の年間活動日数93日は大変だ。行事もあり、複雑な社会の中で活動日数も増えている。定数は10名でいいが、前回のよう欠員では住民の要望が伝達しにくい。報酬は十分な活動のために見直しが必要では。

地振会長も月6、7回は役場に行くが、地区の行事もほとんど手弁当だ。木曾町では自治協議会長に議員並みの報酬が支払われていると聞く。地域自治を進めるには、それなりの活動支援が必要と思う。

意見 与川の男性

定数は現状でよいと思うが、前回の1名欠員については原因を反省し、10名はそろって欲しい。

報酬は検討し、これならまずは動けるのではという線を出したら

と思う。

司会

報酬は、報酬審議会で決めています。審議会からは議員報酬は議会で決めたらという意見が主流です。

地方議会での定数減や報酬減は、行政に対するチエツク機関の機能の低下として大変危険ですが、議員からの発言を願います。

意見 伊藤議員

議員をこの地域から出しておこうという時代もありましたが、現在はそういう雰囲気はなく、高齢化も原因で、どうしてもいいか大変です。

意見 高橋議員

私たちは選ばれる立場ですが、前回は誰もが定数に達しないかという思いでした。

今回、木祖村では地区で働きかけ、定数10人に13人が立候補しました。どうしたら定数になるかはどの町村も

頭が痛いですが、住民からは選挙すべきという声が多い。

定数10人では偏った会議になる傾向が懸念され、12人ほど必要と思います。

報酬は全国的、県内でも南木曾は低いのが現状です。これは次期の議員で検討をと思います。

意見 勝野議員

議員は多い方がいいと思います。

家族の理解が必要で、本人はやる気でも反対されることもあります。また、地域の地縁血縁というしがらみの中で、候補はいるが出にくい状況です。

意見 妻籠の男性

議員定数は各地域の状況を議会に反映することが必要で、10人は最低必要だ。報酬は若い人も出てもらうという点では上げてもいい。

町政に関心が無くなり選挙の投票率が低い町を何とかしたいとい

う雰囲気が高まれば、今日の懇談会の出席も多く、選挙も盛り上がるのではないかと。

常会を開かない地区があり、地域振興協議会で地域をどう発展させるか皆で考え、地域から町に応援をという構造なのに、主体となる地域の話し合いの機会が無く、年寄りには知らないことがある。

「広報なきそ」は結構わかりやすい。国の地域創生戦略では、その気になった地域を応援するというが、常会もなく、どうその声をとりあげるのか。こういう問題や地域振興など、積極的な研究を望む。

司会

地方自治では住民の意思等が大切で、議員定数が少なくていいかどうか住民自身の問題だと思います。例えば「ア」の振興協議会ごとに2人出ると14人になる」など、定数の課題を考えていきたいと思

います。

地域の問題・要望

意見 蘭の男性

次世代が安定して暮らせることを要望する。

現状は若者の流出や高齢化の加速化で地域経済は停滞している。過疎化で各集落は社会機能の維持が大変困難になっている。長い間人口減に慣れ、町全体が鈍感になっているのではないかと。

議員の多くが町の活性化を公約しているが、声はすれども姿が見えない状態で、計画を実行する具体的な戦略が必要だ。

誘致したヒューマンアカデミー高校は5年で撤退し残念だ。議会として何とかならなかったのか。

木質バイオマス発電所は、波及効果が大きい事業であり、町とともに主体性を持ち誘致を進めて欲しい。

少子化対策・高齢化対策・空き家対策があ

っても、働く場がなければ人は住めず、定住化対策や経済対策を進めるのは難しい。どのような事業にも反対はあるので、しっかりと調整を願う。

地方創生戦略ではどの町村も類似した事業を提案し、自治体間での競争や定住者の奪い合いの可能性がある。個人的なアイデアの勝負になるのではないかと。人口増につながるよ

意見 妻籠の男性

地域創生による何千万円の一時的な商品券で、地域を活性化することはできるのか。

北海道では百年計画で木に生きる方式を立て実行している。他にも、教育で町を作る50年計画がある。こうした取り組みが本場の地方創生の方向らしい。町長だけでなく町民がその気になることが必要だが、地域振興協議会がこういうものを策

定したことを聞いていない。妻籠の街の裏には放棄された田んぼが並ぶ。これを日本遺産にして観光客が来るのか。若い人たちに総合的に考えてもらいたい。

意見 蘭の女性

地域の活性化で薬草栽培が注目されている。熊本県の「あさぎり町」では、町長が積極的に薬草栽培を進めている。中国から日本へ薬草を輸出しなくなり、漢方薬の原料が確保できない状況で薬草栽培する人を求めている。木曾町では薬草のあ暮らし、空き家や耕地が荒れるのを無くし、観光にも役立てようという講演会を開催した。蘭でも薬草についての講演会を開催するプロジェクトを進めている。

意見 蘭の男性

地域活性化は今まで企業誘致を重視してきた。誘致すれば何人かの雇用が生まれるが、長い目で見れば南木曾

が一番優れている環境など、地域を破壊することがある。他人の力でなく、地域の人が協力して立ち上がる計画を願う。

意見 妻籠の男性

伐採に伴う林道などの開設で、南木曾岳の周辺では林道が横切ると必ず災害がおきる。議会の「国有林対策特別委員会」での検討は、手を打っておかないと蛇抜けが起きる。

関西電力の水利権がこの7月に更新となるかどうか。

町のリニア対策、議会全体として何か行っているか。

意見 北部の男性

議員定数は、正常な委員会活動が出来る体制を考え決める必要がある。議員の活動に足る報酬は支払うべきだ。

議員立法の「美しいまちづくり条例」における議員の取り組みの状況はどうか。またこ

の条例からみて、公共の土地への政党看板が景観をそこねているのではないか。

議会傍聴では、当日議会の日程・内容が不明だ。資料配布を望む。

昨年2月のアンケート結果について、今回その検討報告がなかった。精査して住民に課題を投げかけていたきたい。

議会への請願・陳情について議会報では採択の理由などが不明だ。請願・陳情者への結果報告はどうしているか。荒廃農地が増え、周辺の里山も荒れ、国土保全にもマイナスだ。農林業振興の考えがあれば伺いたい。

住民に対する情報提供不足を感じる。議会報だけでなくホームページの活用もどうか。

意見のまとめ

司会

・地方創生は独自の視点で積極的。
・薬草栽培など、自然も財産で大事に。

・林道開設についての考え方は。
・関電の水利権更新。
・リニア対策の活動。
・委員会活動が正常に出来る定数を。
・「美しいまちづくり条例」への取り組み。
・議会傍聴者への対応。
・農林業振興の考え。
・など有意義な意見をいただきました。特に発言はありますか。

回答 勝野議員

バイオマス発電計画について

地方創生政策に対し、町も計画を出しています。企業誘致の意見もあり、そのひとつがバイオマス発電です。資源を活用し雇用が生まれ、次世代の安定した生活のシステムが出来れば一番良いです。地元で切った木や枝の買い取りの協定も加えた協定書を作るといった意見も出ています。

「国有林対策特別委員会」について

年に一回、木曾森林

管理署南木曾支署と現地視察等を行い、林道の新設、改良に対して災害対策等を含め意見を述べています。国有林の林道開設時には、地元の振興協議会との懇談会を行いました承がないと着工できないと確認しています。

司会

地方創生戦略についての概要は議会報5月号に掲載しています。8つの事業が計画されていますが、今後皆さんにも審議会に参加していただき、町全体を考えていきます。

まとめ 高橋議長

・定住・空き家対策には苦労していますが、跡取りを残して欲しいと思います。
・企業誘致は、工場用の適地がない地形で企業をお願いしても反対もあります。リニア新幹線開通時には、中津川に勤める人も南木曾に住んでもらいたいと願って

います。
・国有林も木を切らなくてはいけません。ヘリコプターでの搬出もあり、防災上の課題は伝えていきます。

・関電の水利権は木曾郡全体の問題で、議長会を通じお願いします。
・リニア計画については議会全体での賛成とか反対はありません。
・議会傍聴の改革は要望に沿って進めます。
・農林業振興なども検討し直したいです。
・請願・陳情の不十分な対応は精査します。
・「美しい村」については皆で考えたいです。

司会

本日は住民の皆さんから貴重な意見をいただきました。議論の時間が充分取れなかったことは反省材料ですが、次回は大工夫したいと思います。